

主な活動の紹介

○ 学校支援活動の充実に向けて～新たなつながり～

今年度も地域のボランティアによる学校支援が活発に行われました。様々な取組が行われる中で、学校から地域への働きかけによって、学校、地域団体といった枠組みを越えた新たなつながりも生まれています。

佐賀小学校の地域公開参観日においては、1年生の生活科の授業に平生小校区の放課後子ども教室の指導者がゲストティーチャーとして赴き、特技を生かした指導を行いました。これは児童、指導者どちらにとっても新鮮な感覚で、好印象でした。今後、小学校区を越えた新たなつながりに発展していくことが期待できます。



地域公開参観日

このほか、佐賀小学校では、学校支援ボランティアへの感謝の手紙の掲示や学校給食への招待（食費は参加者負担）を行い、感謝の気持ちを地域の方に伝えています。地域の方は、「学校が一層近く感じられる」とやりがいを感じ、より積極的に学校を訪れています。



カレーパーティー

平生小学校5年生は、総合的な学習の中で、地域の行事である花いっぱい運動に参加し、地域のボランティアの方々と一緒に汗を流しました。児童はその後、地域の公民館や町民グラウンドの環境整備をする「ゴミ0プロジェクト」を計画し、地域に呼びかけました。当日は多く地域の方々が集まり、児童と一緒に作業をしました。



花いっぱい運動に参加

この学習を通して児童は大きな達成感をもち、地域の一員としてより良いまちづくりに貢献することの大切さを学びました。

今年度コミュニティ・スクールとなる平生中学校では、教員が各小学校に赴いて5・6年生の外国語活動や体育などの出前授業を行いました。今後は小学校教員が中学校に赴いて授業する等、小中連携による取組の充実が期待されます。



ゴミ0プロジェクトの様子



ゴミ0プロジェクトの様子

放課後子ども教室では、平生ふれあい工作教室の指導者が、中央児童館の行事や児童クラブ、子ども会行事等に指導者として赴く等、団体間の垣根を越えた横のつながりが広がってきています。



中学校教員による出前授業

成果と課題

活動を積み重ねてきたことで、学校教職員に地域協育ネットの理解が進み、独自の取組が進みました。今後、各校学校運営協議会との連携を密にした活動を進めていくことが課題です。

今後の取組

コミュニティ・スクールと一体となった活動を展開し、生涯学習推進協議会等の機関と連携を図り、まちづくりの活動と結び付けていくことで、学校と地域住民の目的意識の共有化を図り、協働体制のもと、活動の拡大を図っていく予定です。